

AC/DC Converter

非絶縁降圧型 PWM 方式 2W -12V 出力 BM2P129TF 評価ボード

BM2P129TF-EVK-002

BM2P129TF-EVK-002評価ボードは、90Vac～264Vacの入力から-12Vの負電圧を出力します。出力電流は最大0.167Aを供給します。650V MOSFET内蔵PWM方式DC/DCコンバータICのBM2P129TFを使用しています。

BM2P129TFは、650V耐圧起動回路内蔵により、低消費電力に貢献します。電流検出抵抗を内蔵し、小型電源設計を実現しています。電流モード制御を用いているため、サイクルごとに電流制限がかけられ、帯域幅と過渡応答にすぐれた性能を発揮します。スイッチング周波数は固定方式で100kHzです。軽負荷時には、周波数低減を行い、高効率を実現します。周波数ホッピング機能を内蔵しており、低EMIに貢献します。低オン抵抗9.5Ω・650V耐圧MOSFETを内蔵しており、低消費電力、設計容易化に貢献します。

フライホイールダイオードは、1A/650V RFN1LAM6Sのファストリカバリ・ダイオードを搭載しており、低消費電力に貢献しています。

性能仕様

これは代表値であり、特性を保証するものではありません。特に指定がない場合は、 $V_{IN} = 230Vac$, $I_{OUT} = 120mA$, $T_a: 25^{\circ}C$

Parameter	Min	Typ	Max	Units	Conditions
入力電圧範囲	90	230	264	Vac	
入力周波数	47	50/60	63	Hz	
出力電圧	-13.2	-12.0	-10.8	V	
最大電力	-	-	2.0	W	$I_{OUT} = 167mA$
出力電流範囲 (NOTE1)	2	120	167	mA	
待機電力	-	44	-	mW	$I_{OUT} = 0A$
電源効率	-	72.2	-	%	
出力リップル電圧 (NOTE2)	-	29	-	mVpp	
動作温度範囲	-10	25	65	$^{\circ}C$	

(NOTE1) 部品表面温度が 105 $^{\circ}C$ 以上にならないよう、負荷印加時間を調整してください。

(NOTE2) スパイクノイズを含みません。

動作手順

1. 必要な機器

- (1) 90Vac～264Vac、10W 以上の AC 電源
- (2) 最大 0.167A の負荷
- (3) DC 電圧計

2. 機器を接続

- (1) AC 電源を 90～264Vac にプリセットして、電源出力を OFF にします。
- (2) 負荷を 0.167A 以下に設定して、負荷を無効にします。
- (3) 電源の N 端子を CN1 ③:AC(N)端子へ、L 端子を④:AC(L)端子へ、一対のワイヤで接続します。
- (4) 負荷の正端子を VOUT1 端子へ、負端子を GND1 端子へ、一対のワイヤで接続します。
- (5) 入力電圧測定用に AC 電力計を AC 電源へ接続します。
- (6) 出力電圧測定用に DC 電圧計の正端子を VOUT1 へ、負端子を GND1 へ接続します。
- (7) AC 電源の出力を ON にします。
- (8) DC 電圧計の表示が -12V であることを確認します。
- (9) 負荷を有効にします。
- (10) ワイヤの抵抗により電圧降下（損失）が発生していないか、DC 電圧計で確認します。

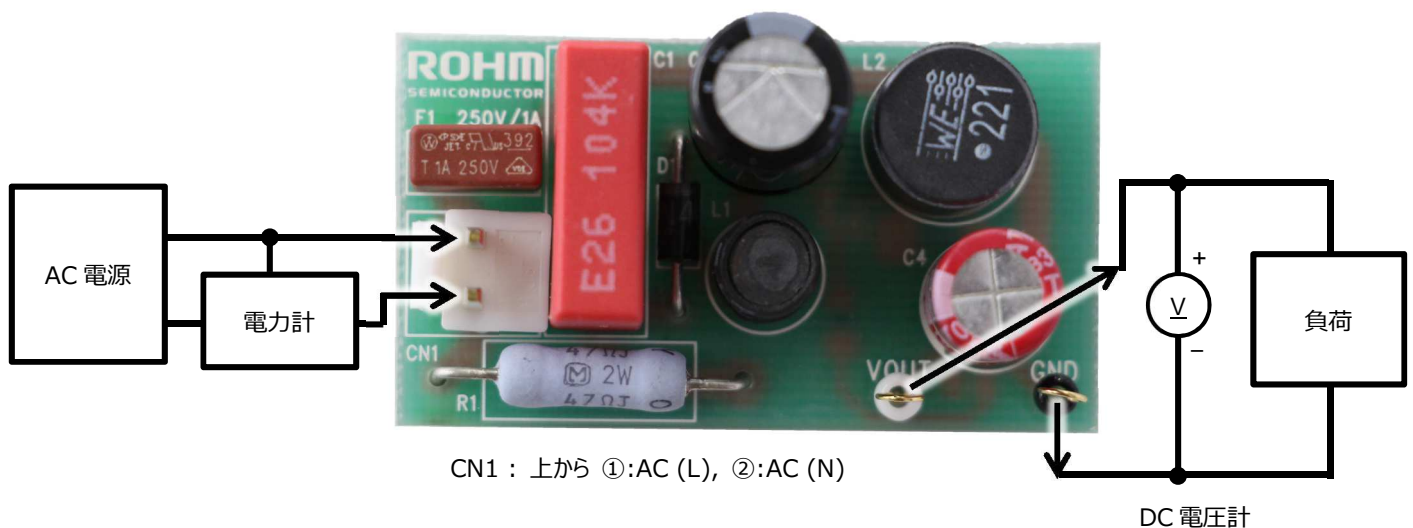


Figure 1. 接続図

デレーティング

本評価ボードは、最大電力 P_o は 2W です。また、右図に示すデレーティング曲線を示します。50℃以上の高温時、デレーティング曲線を超える負荷電力を印加する場合は、部品表面温度が 105℃を超えないよう、負荷電流時間を調整してください。

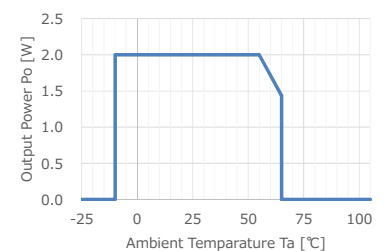


Figure 2. デレーティング

回路図

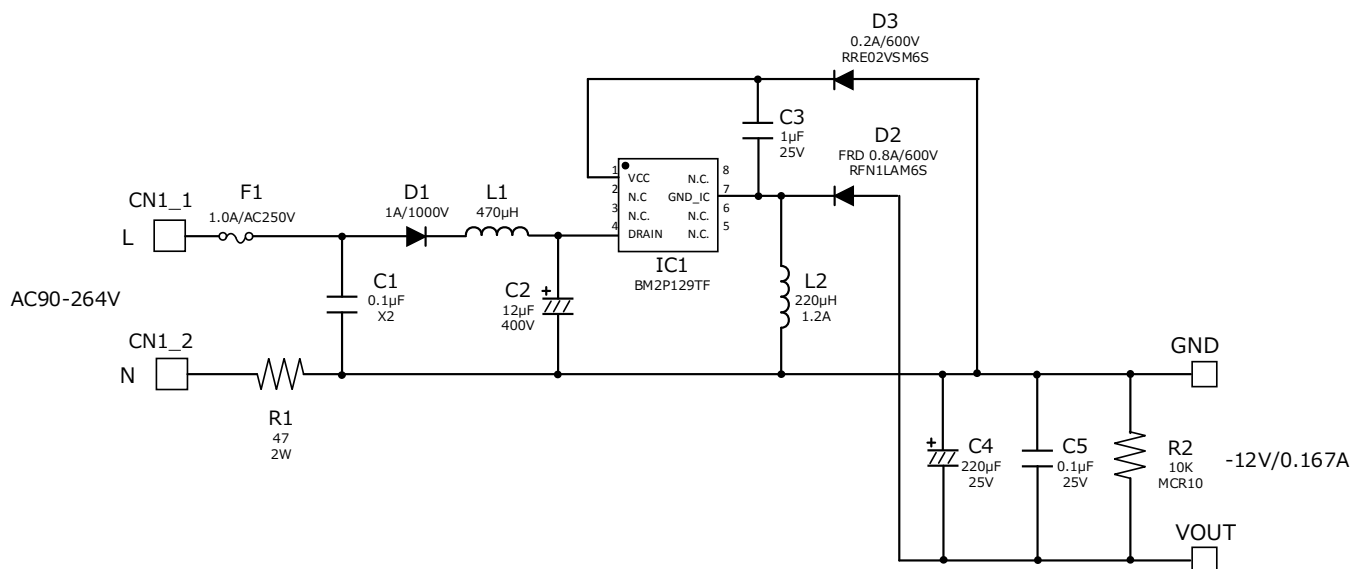
 $V_{IN} = 90 \sim 264V_{ac}$, $V_{OUT} = -12V$


Figure 3. BM2P129TF-EVK-002 回路図

部品表

Table 1. BM2P129TF-EVK-002 の部品表

Part Reference	Qty.	Type	Value	Description	Part Number	Manufacture	Configuration mm (inch)
C1	1	Film	0.1μF	X2	890 334 025 017 CS	Würth	-
C2	1	Electrolytic	12μF	400V, ±20%	400BXW12MEFR10X16	Rubycon	-
C3	1	Ceramic	1μF	25V, X7R, ±20%	TMK107B7105MA-T	Taiyo Yuden	1608 (0603)
C4	1	Electrolytic	220μF	25V, ±20%	860 080 474 010	Würth	-
C5	1	Ceramic	0.1μF	50V, X7R, ±20%	HMK107B7104MA-T	Taiyo Yuden	1608 (0603)
CN1	1	Connector	-	2pin	B2P-VH	JST	-
D1	1	FRD	1A	1000V	1N4007-GP	Vishay	-
D2	1	FRD	0.8A	600V	RFN1LAM6S TR	ROHM	PMDS
D3	1	Diode	0.2A	600V	RRE02VSM6S	ROHM	TUMD2SM
F1	1	Fuse	1A	250V	39211000000	Littelfuse	-
IC1	1	AC/DC Converter	-	-	BM2P129TF	ROHM	SOP8
L1	1	Coil	470μH	0.25A	DRV060-471	Alphatrans	-
L2	1	Coil	220μH	1.2A	744 747 122 1	Würth	-
R1	1	Resistor	47Ω	2W, ±5%	ERG-2SJ470	Panasonic	-
R2	1	Resistor	10kΩ	0.1W, ±5%	MCR10EZPJ103	ROHM	2012 (0805)

レイアウト

Size : 25 mm x 45 mm

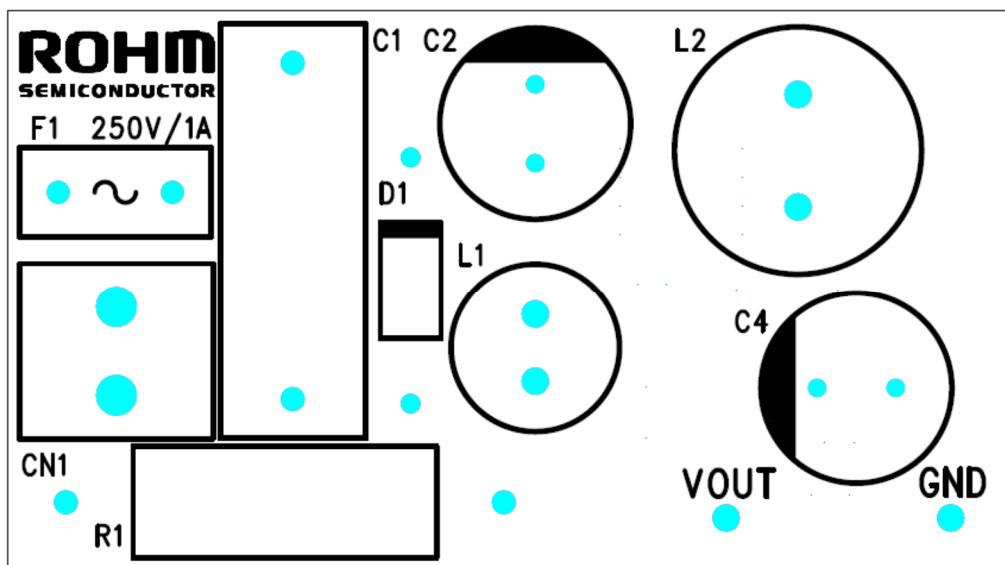


Figure 4. Topシルクスクリーン (Top view)

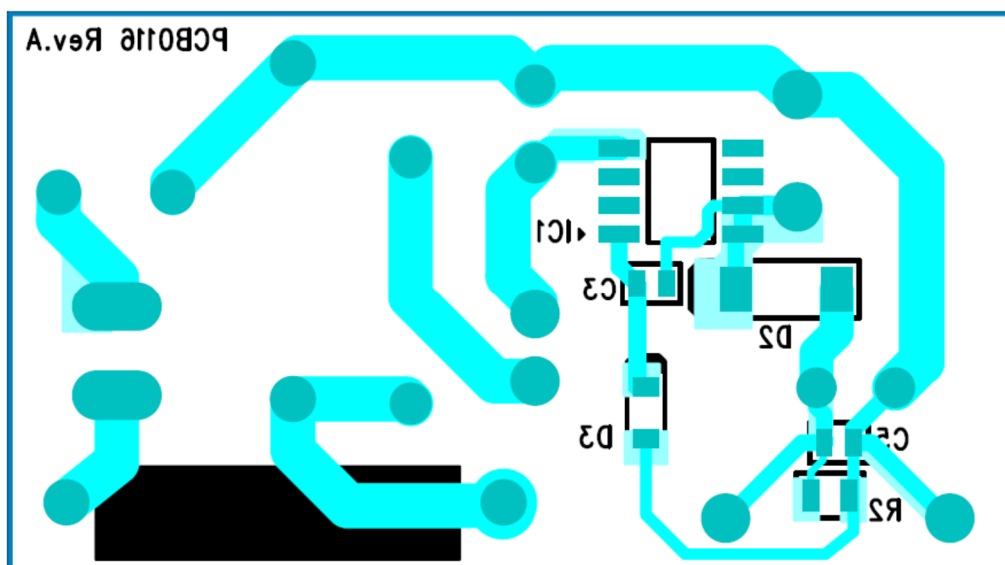
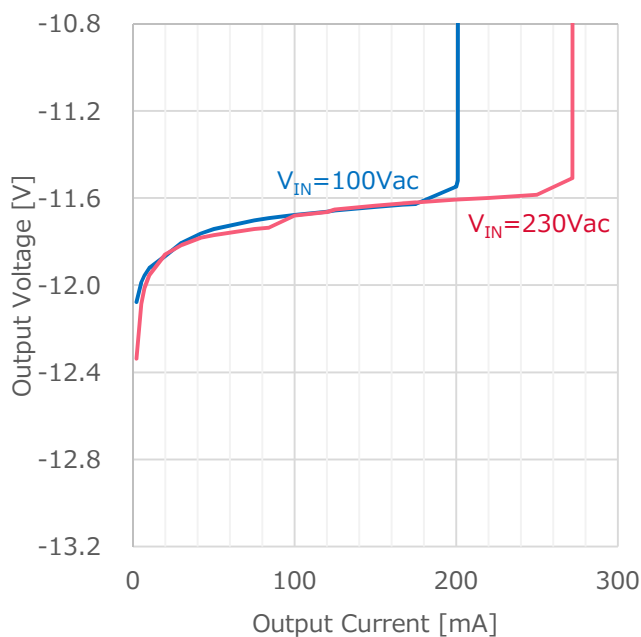
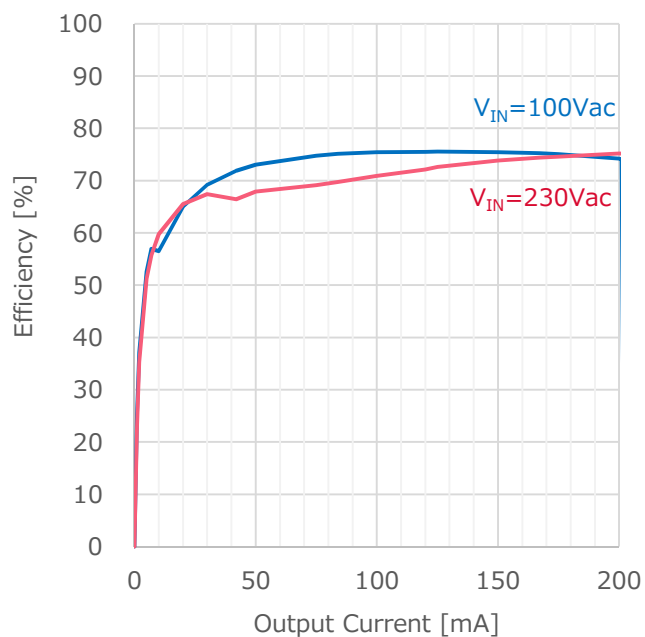
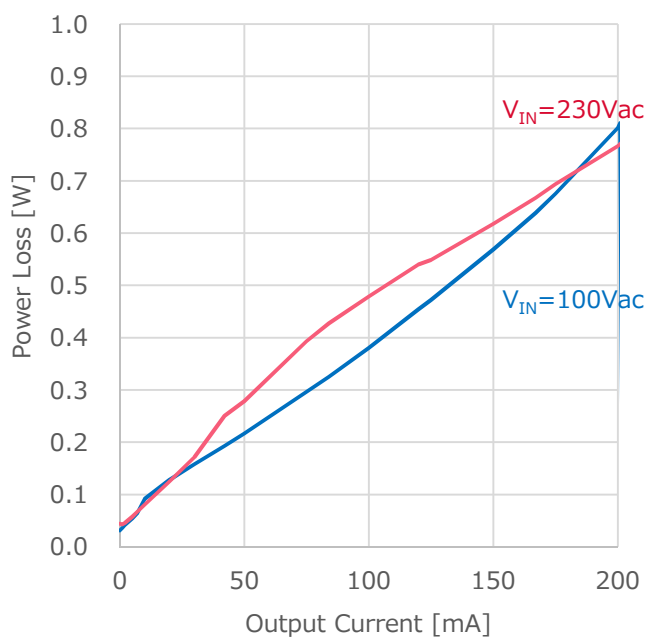
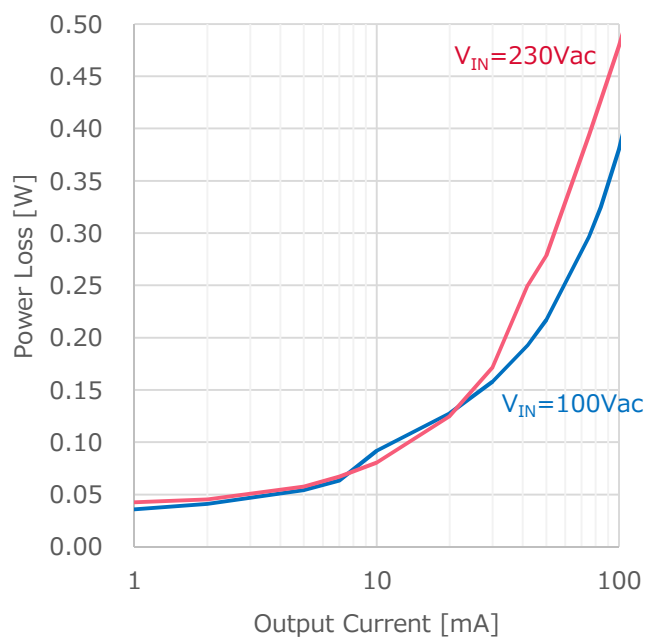


Figure 5. Bottom側レイアウト (Top view)

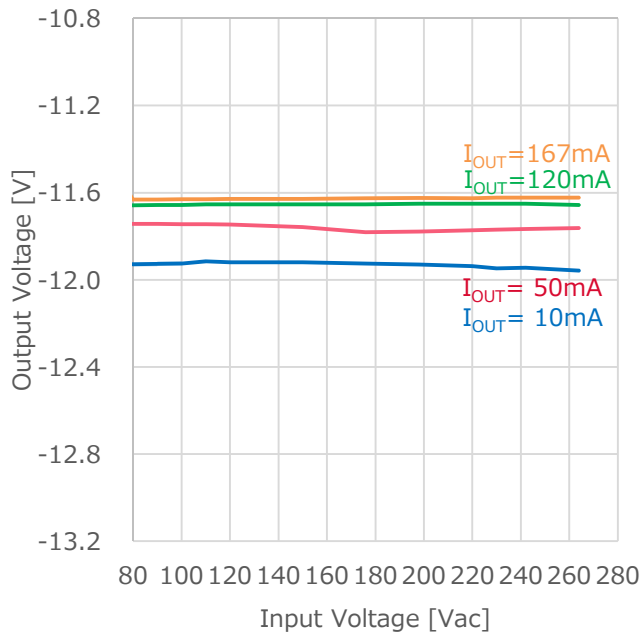
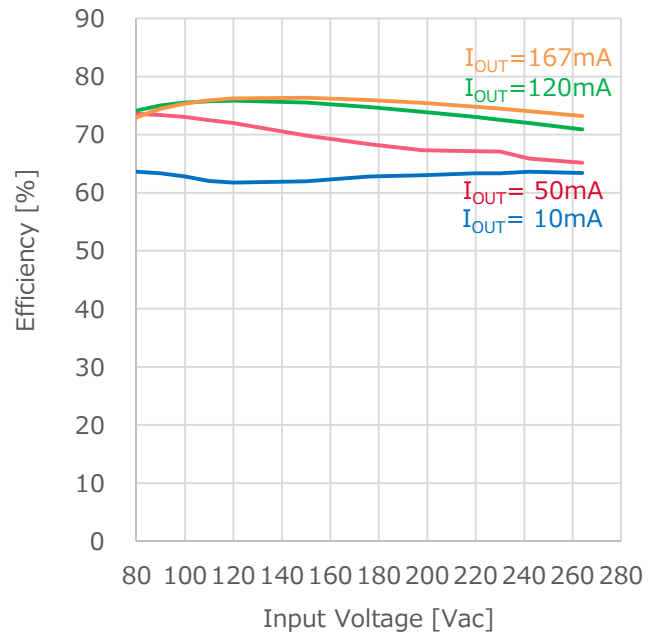
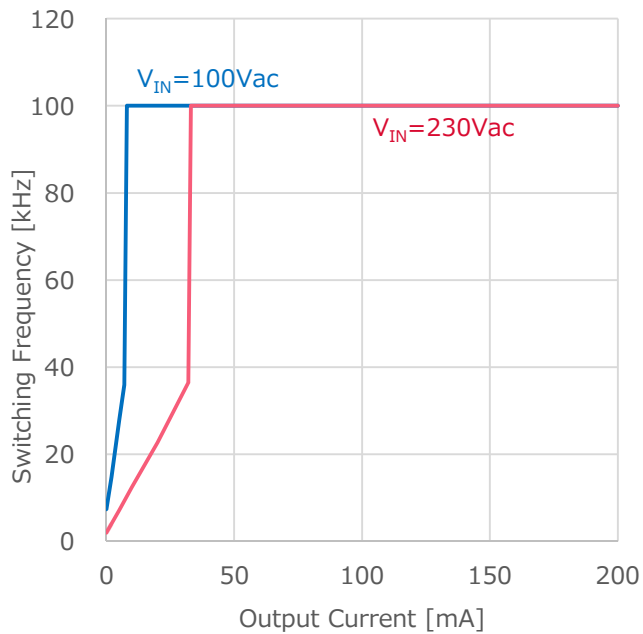
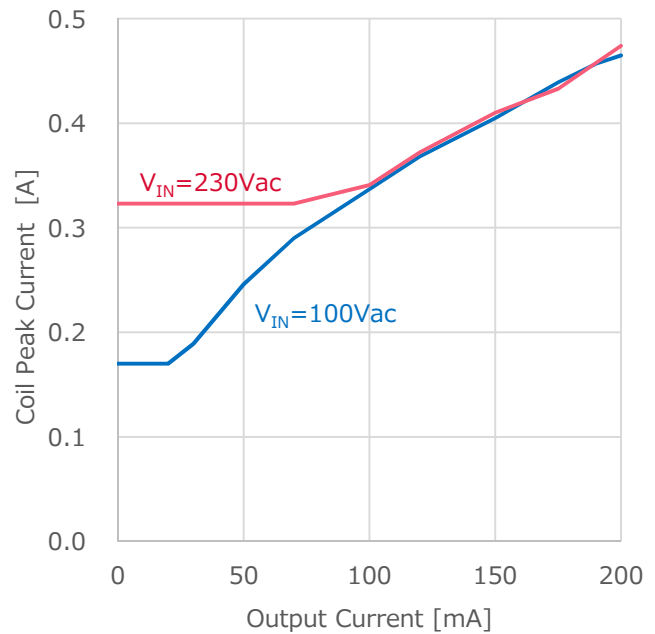
参考アプリケーションデータ

Figure 6. Load Regulation (I_{OUT} vs. V_{OUT})Figure 7. LOAD Regulation (I_{OUT} vs. Efficiency)Figure 8. Load Regulation (I_{OUT} vs. P_{LOSS})Figure 9. LOAD Regulation (I_{OUT} vs. P_{LOSS})Table 2. Load Regulation ($V_{IN}=100Vac$)

I_{OUT}	V_{OUT}	Efficiency
42 mA	-11.763 V	71.91 %
84 mA	-11.692 V	75.14 %
120 mA	-11.663 V	75.49 %
167 mA	-11.631 V	75.26 %

Table 3. Load Regulation ($V_{IN}=230Vac$)

I_{OUT}	V_{OUT}	Efficiency
42 mA	-11.782 V	66.42 %
84 mA	-11.736 V	69.77 %
120 mA	-11.665 V	72.15 %
167 mA	-11.625 V	74.41 %

Figure 10. LINE Regulation (I_{OUT} vs. V_{OUT})Figure 11. LINE Regulation (I_{OUT} vs. Efficiency)Figure 12. Switching Frequency (I_{OUT} vs. F_{SW})Figure 13. Coil Peak Current (I_{OUT} vs. I_{peak})

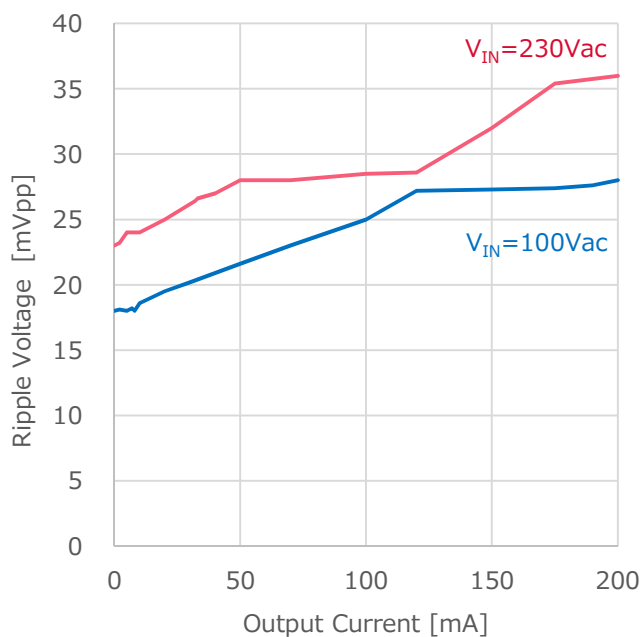
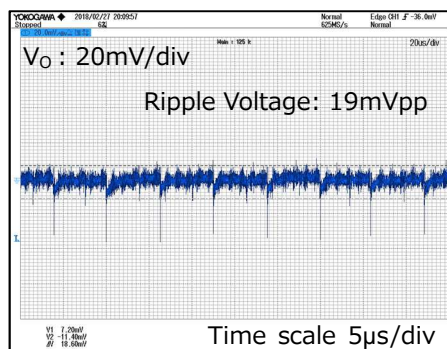
Figure 14. VOUT Ripple Voltage (I_{OUT} vs. V_{ripple}) $V_{IN}=100Vac$, $I_{OUT}=10mA$

Figure 15. VOUT Ripple Voltage.1

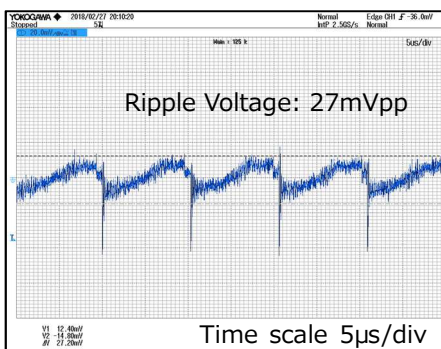
 $V_{IN}=100Vac$, $I_{OUT}=120mA$

Figure 16. VOUT Ripple Voltage.2

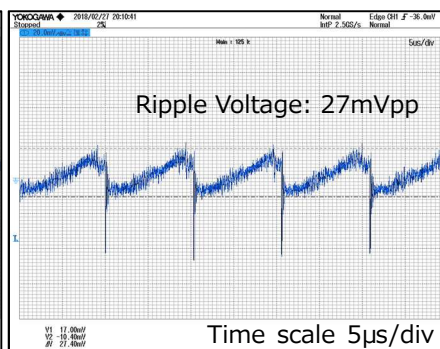
 $V_{IN}=100Vac$, $I_{OUT}=167mA$

Figure 17. VOUT Ripple Voltage.3

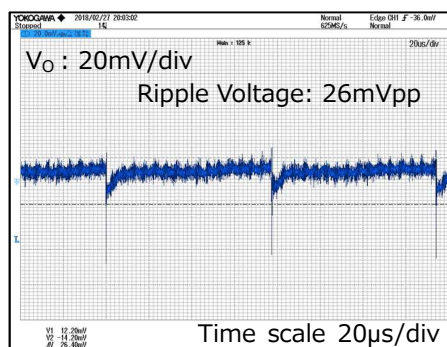
 $V_{IN}=230Vac$, $I_{OUT}=10mA$

Figure 18. VOUT Ripple Voltage.4

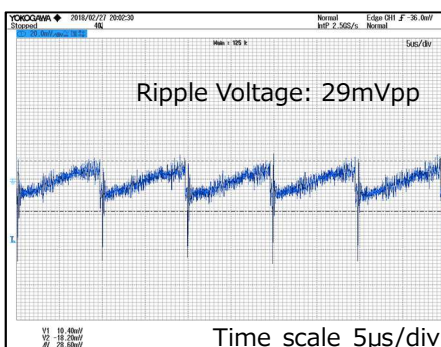
 $V_{IN}=230Vac$, $I_{OUT}=120mA$

Figure 19. VOUT Ripple Voltage.5

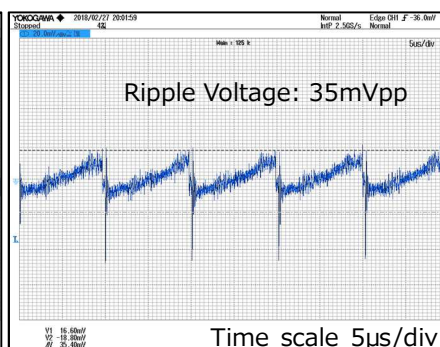
 $V_{IN}=230Vac$, $I_{OUT}=167mA$

Figure 20. VOUT Ripple Voltage.6

Table 4. 部品表面温度

※Ta:25℃, 30 分放置後測定

Part	Condition		Condition	Condition
	$V_{IN}=90Vac,$ $I_{OUT}=0.120A$	$V_{IN}=90Vac,$ $I_{OUT}=0.167A$	$V_{IN}=264Vac,$ $I_{OUT}=0.120A$	$V_{IN}=264Vac,$ $I_{OUT}=0.167A$
IC1	47.7℃	51.4℃	64.7℃	67.4℃
D1	51.2℃	46.6℃	56.2℃	59.6℃
L1	43.7℃	45.2℃	52.0℃	60.3℃

ご 注 意

- 1) 本資料の記載内容は改良などのため予告なく変更することがあります。
- 2) 本資料に記載されている内容は製品のご紹介資料です。ご使用に際しては、別途最新の仕様書を必ずご請求のうえ、ご確認ください。
- 3) ロームは常に品質・信頼性の向上に取り組んでおりますが、半導体製品は種々の要因で故障・誤作動する可能性があります。
万が一、本製品が故障・誤作動した場合であっても、その影響により人身事故、火災損害等が起こらないようご使用機器でのディレーティング、冗長設計、延焼防止、バックアップ、フェイルセーフ等の安全確保をお願いします。定格を超えたご使用や使用上の注意書が守られていない場合、いかなる責任もロームは負うものではありません。
- 4) 本資料に記載されております応用回路例やその定数などの情報につきましては、本製品の標準的な動作や使い方を説明するものです。
したがって、量産設計をされる場合には、外部諸条件を考慮していただきますようお願いいたします。
- 5) 本資料に記載されております技術情報は、製品の代表的動作および応用回路例などを示したものであり、ロームまたは他社の知的財産権その他のあらゆる権利について明示的にも黙示的にも、その実施または利用を許諾するものではありません。上記技術情報の使用に起因して紛争が発生した場合、ロームはその責任を負うものではありません。
- 6) 本資料に掲載されております製品は、耐放射線設計はなされていません。
- 7) 本製品を下記のような特に高い信頼性が要求される機器等に使用される際には、ロームへ必ずご連絡の上、承諾を得てください。
・輸送機器（車載、船舶、鉄道など）、幹線用通信機器、交通信号機器、防災・防犯装置、安全確保のための装置、医療機器、サーバー、太陽電池、送電システム
- 8) 本製品を極めて高い信頼性を要求される下記のような機器等には、使用しないでください。
・航空宇宙機器、原子力制御機器、海底中継機器
- 9) 本資料の記載に従わないために生じたいかなる事故、損害もロームはその責任を負うものではありません。
- 10) 本資料に記載されております情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、万が一、当該情報の誤り・誤植に起因する損害がお客様に生じた場合においても、ロームはその責任を負うものではありません。
- 11) 本製品のご使用に際しては、RoHS 指令など適用される環境関連法令を遵守の上でご使用ください。
お客様がかかる法令を順守しないことにより生じた損害に関して、ロームは一切の責任を負いません。
本製品の RoHS 適合性などの詳細につきましては、セールス・オフィスまでお問合せください。
- 12) 本製品および本資料に記載の技術を輸出又は国外へ提供する際には、「外国為替及び外国貿易法」、「米国輸出管理規則」など適用される輸出関連法令を遵守し、それらの定めにしたがって必要な手続を行ってください。
- 13) 本資料の一部または全部をロームの許可なく、転載・複写することを堅くお断りします。



ローム製品のご検討ありがとうございます。
より詳しい資料やカタログなどご用意しておりますので、お問合せください。

ROHM Customer Support System

<http://www.rohm.co.jp/contact/>

■＜高電圧に関するご注意事項＞

◇操作を始められる前に！

このドキュメントは、BM2P129TF 用評価ボード(BM2P129TF-EVK-002)とその機能に限定し記載しています。

BM2P129TF のより詳細な内容については、データシートを参照してください。

安全に操作を行って頂く為に、評価ボードをご使用になる前に必ずこのドキュメントの全文を読んでください！



また、使用される電圧およびボードの構造によっては、

生命に危険をおよぼす電圧が発生する場合があります。

必ず下記囲み内の注意事項を厳守してください。

＜使用前に＞

- ① ボードの落下などによる部品の破損、欠落がない事を確認してください。
- ② 導電性の物体がボード上に落ちていない状態である事を確認してください。
- ③ モジュールと評価ボードのはんだ付けを行う際は、はんだ飛散に注意してください。
- ④ 基板に、結露や水滴がない事を確認してください。

＜通電中＞

- ⑤ 導電性の物体がボードに接触しないよう注意してください。
- ⑥ **動作中は、偶発的な短時間の接触、もしくは手を近づけた場合の放電であっても、重篤に陥る場合や生命に関わる危険性があります。**
絶対にボードに素手で触れたり、近づけ過ぎたりしないでください。
また、ピンセットやドライバなど導電性の器具を用いての作業も上記同様に注意してください。
- ⑦ 定格以上の電圧が印加された場合、短絡など仕様状況によっては部品の破裂等も考えられます。部品の飛散などによる危険についても考慮して下さい。
- ⑧ 動作時は、熱等によるボード・部品の変色や液漏れ等、及び低温評価による結露に注意しながら作業を進めてください。

＜使用后＞

- ⑨ 評価ボードには、高電圧を蓄える回路が含まれる場合があります。接続している電源回路を切断しても電荷を蓄えているため、ご使用後には必ず放電し、放電したことを確認してから取り扱うようにして下さい。
- ⑩ 過熱された部品への接触による火傷等に注意してください。

この評価ボードは、研究開発施設で使用されるもので、

各施設において高電圧を取り扱う事を許可された方だけが使用出来ます。

また、高電圧を使用しての作業時には、「高電圧作業中」等の明示を行い、インターロック等を備えたカバーや保護メガネの着用等、安全な環境において作業される事を推奨します。